

再繁茂対策を考慮した揖斐川における河道掘削

平成30年1月31日

国土交通省 中部地方整備局

木曽川上流河川事務所

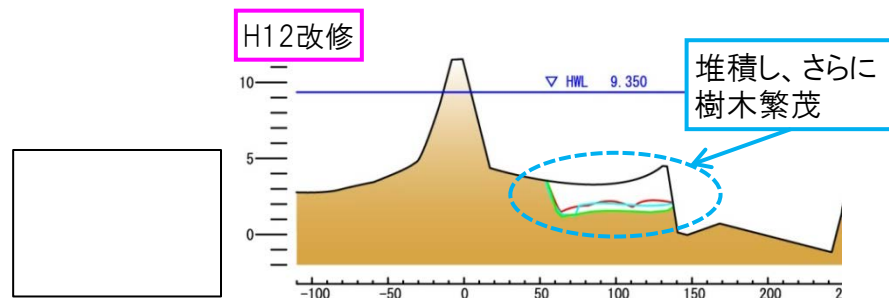
揖斐川における河道管理の課題及び対応方針(案)

■洪水の安全な流下等に支障となる樹木については、鋭意、伐開を実施しているところであるが、再繁茂しやすい比高差となっている区間が多いことから、再繁茂について留意すべき範囲が非常に大きくなっている。

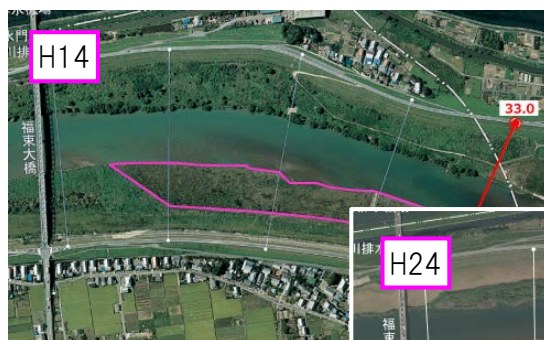
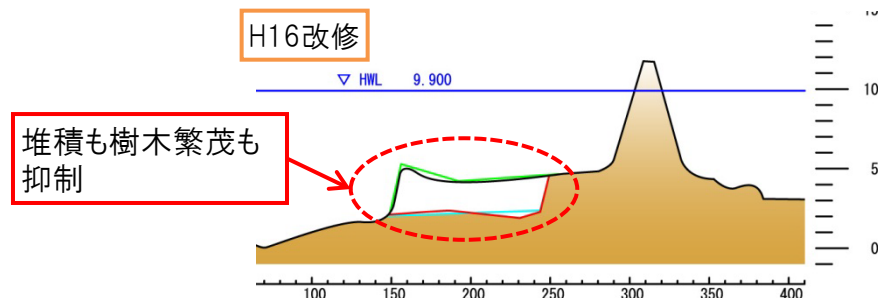
■平成12年～19年に実施した河道掘削において、試験的に掘削敷高を変化させたところ、湧水位相当で掘削した区間においては樹木の生長が抑制される結果となったことから、冠水頻度を考慮した再繁茂対策を実施していくこととする。

掘削形状の違いによる再繁茂の違い

豊水位相当で掘削した場合



湧水位相当で掘削した場合



【H14・改修直後】
改修後間もないため
樹林化は進行していない

【H14・改修前】



【H19・改修直後】
改修後間もないため
樹林化は
進行していない



【H24・近年】
改修箇所が
判別できないほど
樹林化が進行



【H24・近年】
再堆積や樹林化が
みられない



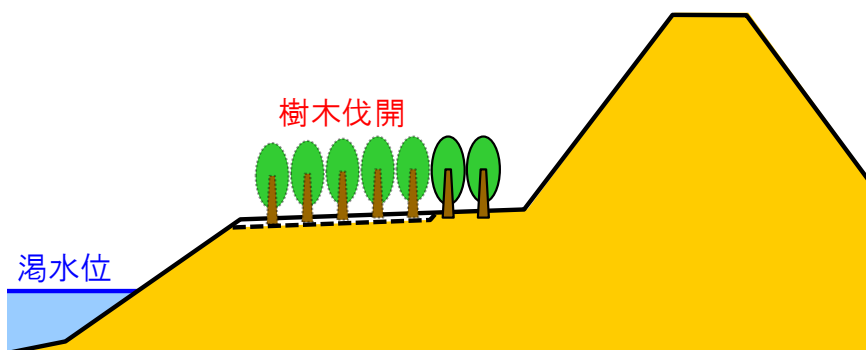
揖斐川における樹木の再繁茂対策(案)

■冠水頻度と再繁茂との関連性を踏まえ、樹木伐開に加え、樹木繁茂面を潟水位や満潮位等をまで掘削することで、樹木の再繁茂の抑制に努めていく。

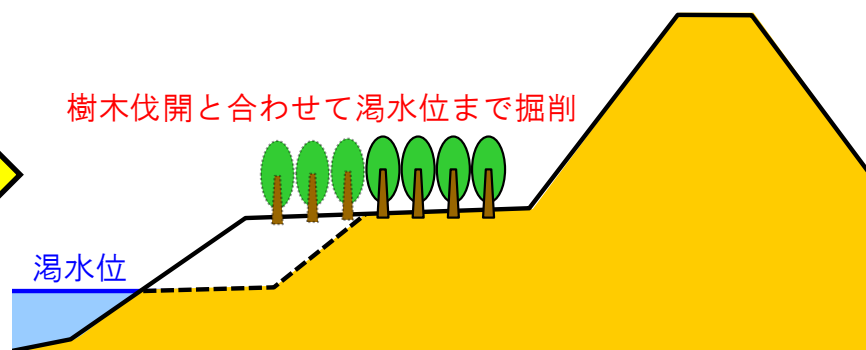
■なお再繁茂対策実施後、継続的にモニタリングを行い、効果や改善点等について、適宜、流域委員会等に諮るものとする。

樹木の繁茂が生じにくい河道形状の設定

従来の樹木伐開



再繁茂対策



再繁茂対策実施イメージ

樹木伐開着手前



樹木伐開完了後



盤下げ実施後



民間活力の活用や地域住民との協働(案)

■維持管理面を考慮した水位低下対策や樹木の再繁茂対策のほか、民間活力の活用や地域住民との協働についても検討、推進していく。

民間活力の活用（砂利採取、公募伐採等）

- 堆積土砂の掘削が必要な区間において砂利採取を実施（活用の推進に向け、必要に応じ継続掘削箇所を設定）
- 樹木伐開が必要な箇所を公募採取とし、伐木の処理を実施
- 高水敷を採草地等として占有者による管理を実施（樹木の繁茂が抑制され、良好な状態が維持）



伐開した樹木(幹)を現場内集積し
公募した採取者が搬出



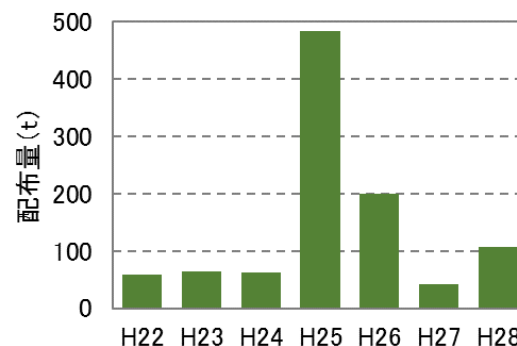
牧草地で占有されている箇所の状況

「採草地」占有箇所

地域住民との協働

- 樹木伐開後の再繁茂を抑制するために、地域住民と協働して、再繁茂の初期段階に樹木の伐開を実施
- 樹木伐開で発生した伐木の無料配布を引き続き実施

伐開した樹木の配布状況
(木曽川)



伐開した樹木の
無料配布実施状況